

平成 30 年度 泉台小学校学校経営方針

学校教育目標

心豊かにたくましく生きぬく 実践力のある
子どもの育成
～徳・知・体の調和のとれた人間の育成～

<昨年度末までの成果>

- ・下級生が最上級生を手本とする校風
- ・あいさつと言葉遣いのよさ
- ・全国学力テストは全国平均並み
- ・体力テストは全国平均以上
- ・職員の丁寧な保護者対応

<今年度の課題>

- ・不登校児童への対応
- ・学力、体力向上
- ・施設の改修
- ・特別に支援を要する児童への対応
- ・教師の指導力向上

目指す学校像

- ・新しい取組を取り入れ、子どものために動いている学校
- ・教職員にとって協働の喜びに溢れる学校
- ・保護者・地域にとって信頼できる学校

目指す子ども像

あ あいさつをする子ども
い いつもやさしくできる子ども
う 美しい学校にしようとする子ども
え 笑顔で体を動かす子ども
お お話を最後まで聞く子ども

目指す教師像

- ・個々の目標を設定し、専門性・指導力の向上を目指す職員
- ・「チーム泉台」としての自覚をもつと共に、相互で支えあうことができる職員（よりよい同僚性）
- ・自己の職責を自覚し、公務員としてふさわしい行動のできる職員

今年度テーマ「揃える」と「生かす」

4つの重点目標及び具体的な方策

1、学力体力の向上

- ・朝自習の課題を全校共通させる。
- ・家庭学習の共通理解と学年毎の独自性
- ・「ひまわり学習塾」の活用（3年生）
- ・「学力体力アクションプラン」と「学力向上サポートプラン」の活用

2、豊かな心の育ち

- ・たてわり活動で異学年との交流・保育園や年長者との交流
- ・あいさつ週間・チャイム週間・廊下週間・そうじ週間を意識させ、徹底を図る。
- ・毎月2回の朝自習の時間、校長によるテレビ放送
- ・道徳科の指導時間の確保と教科書の履修
- ・毎月、児童に「こころとからだの健康相談」実施

3、学校組織の充実

- ・「チーム泉台」としての意識
「一人にさせない学校体制づくり」（市教委）
- ・管理職への「報告・連絡・相談」の徹底
- ・生徒指導と保護者対応は「さ・し・す・せ・そ」
- ・関係機関と連携した不登校対応
- ・養護教諭・栄養教諭が中心となり、全職員による食物アレルギー児童の把握と適切な対応

4、指導力の向上

- ・学力体力向上推進教員（甲山先生）の活用
- ・道徳科を主題とした共同研究（担任全員による授業）
- ・若年教師の指導力向上（講師と新採5年以下の研修）
- ・書画カメラ・デジタル教科書などPC情報機器の積極的な活用

新しい取組

- ・学童保育のプレハブを運動場に設置
- ・移行期間中の教育課程の把握と新学習指導要領実施への対応
- ・ひまわり学習塾・学力体力向上推進教員・小中連携講師の所管校

留意すること

- ・働き方改革への意識をもつ
- ・信用失墜行為の禁止（体罰・飲酒運転・個人情報の漏洩）
- ・机上や持ち物の整理が危機管理につながる
- ・電話の対応「泉台小学校の〇〇です」と名前を名乗る
- ・児童と同様に職員も名札をつける